



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月9日

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL <https://arkcore.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	5,873	15.8	498	△22.1	494	△21.5	334	△23.3
	5,070	12.0	640	77.9	629	79.9	435	82.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2026年2月期第3四半期	円 銭		円 銭					
2025年2月期第3四半期	184.94		—					
	243.50		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年2月期	3,005	1,604	53.4
	2,893	1,270	43.9

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 1,604百万円 2025年2月期 1,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年2月期3Q	2025年2月期	1,970,000株
② 期末自己株式数	163,688株	2025年2月期	163,688株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	1,806,312株	2025年2月期3Q	1,787,497株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期財務諸表及び主な注記	4
(1)	四半期貸借対照表	4
(2)	四半期損益計算書	5
(3)	四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4)	四半期財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
	(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、2025年7月から9月までの四半期別GDP実質成長率がマイナスに転じました。企業収益は上場企業を中心に緩やかに改善が続き、雇用情勢は完全失業率及び有効求人倍率とともに横ばい圏内あります。一方、日本では長期金利が上昇傾向にあり、外国為替相場も主要通貨に関して円安方向に推移していることから、輸入物価及び消費者物価は継続して上昇していくことが見込まれる状況にあり、国内景気は停滞するリスクが内在しており、今後の動向を注視する必要があります。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

国内バイクメーカーは、国内市場が若年層の人口減少や燃料価格高騰などの問題を抱える中で、若年層の新規ライダー及び中高年層のリターンライダーの獲得につなげようと新型車を投入しており、海外バイクメーカーは1000ccクラスの大型バイクだけでなく、比較的安価な400cc以下の車種を投入することで幅広い層への拡販を図っております。しかし、コロナ禍による需要増が一巡したこと、新車価格の上昇などが影響し、2024年の新車販売台数は2023年を下回る結果となりました。

バイク販売店における中古バイク販売価格は安定しているものの、外国為替相場や関税率の変動等の影響によっては海外バイヤーの購入意欲が減退していく可能性があり、業者間オークション相場にも影響を及ぼし始めております。

このような市場環境において、当社はバイクを売却したいユーザーの満足度と事業利益の両立を追求した買取価格帯を設定し、買取成約率と粗利単価の向上の実現に向けた取り組みを実施しております。

また、各種広告媒体への出稿を行い、バイク売却ユーザーが減少傾向にある中でも新たなユーザー層を獲得し、安定的な買取台数を維持する好循環を生み出しておりますが、広告宣伝費の増加にもつながっております。

バイク事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高5,487百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益424百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

(フィットネス事業)

当事業においてエニタイムフィットネスは4店舗、ステップゴルフは2店舗で増減はありません。

当第3四半期累計期間でのエニタイムフィットネスの月平均会員数は、前年同期比16.7%増、ステップゴルフの会員数は同1.5%増となり、会員数は堅調に推移しております。

フィットネス事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高385百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益73百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は売上高5,873百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益498百万円（前年同期比22.1%減）、経常利益494百万円（前年同期比21.5%減）、四半期純利益334百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末において総資産は3,005百万円となり、前事業年度末と比較して111百万円増加しました。主な要因としては、現金及び預金が253百万円、投資その他の資産が23百万円増加し、商品が177百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末において負債は1,400百万円となり、前事業年度末と比較して222百万円減少しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が26百万円増加し、1年内償還予定の社債を含む社債が120百万円、未払法人税等が107百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末において純資産は1,604百万円となり、前事業年度末と比較して334百万円増加しました。要因としては、四半期純利益334百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物は1,913百万円(前年同期は1,941百万円)となっております。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は435百万円(前年同期は得られた資金598百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前四半期純利益491百万円、棚卸資産の減少額178百万円、支出した資金としては法人税等の支払額251百万円、役員賞与引当金の減少額40百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は87百万円(前年同期は支出した資金25百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出44百万円、差入保証金の差入による支出25百万円、無形固定資産の取得による支出7百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は95百万円(前年同期は支出した資金314百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては長期借入れによる収入200百万円、支出した資金としては長期借入金の返済による支出173百万円、社債の償還による支出120百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期通期業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績の進捗状況及び直近の営業活動の状況を踏まえて、本日付けで業績予想の修正を行っております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,674,301	1,928,196
売掛金	70,828	80,382
商品	877,764	700,308
貯蔵品	3,244	2,327
前払費用	24,990	21,843
その他	24,724	23,684
流動資産合計	2,675,853	2,756,741
固定資産		
有形固定資産	116,300	115,037
無形固定資産	5,587	14,219
投資その他の資産	96,234	119,264
固定資産合計	218,121	248,522
資産合計	2,893,975	3,005,264
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,394	24,103
1年内償還予定の社債	155,000	105,000
1年内返済予定の長期借入金	236,654	286,444
未払法人税等	165,567	57,653
賞与引当金	40,530	18,891
役員賞与引当金	40,000	—
その他	222,018	266,017
流動負債合計	887,164	758,109
固定負債		
社債	185,000	115,000
長期借入金	551,219	527,512
固定負債合計	736,219	642,512
負債合計	1,623,383	1,400,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	264,984	264,984
利益剰余金	833,926	1,167,977
自己株式	△61,144	△61,144
株主資本合計	1,270,592	1,604,642
純資産合計	1,270,592	1,604,642
負債純資産合計	2,893,975	3,005,264

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	5,070,902	5,873,424
売上原価	2,940,313	3,606,628
売上総利益	2,130,588	2,266,796
販売費及び一般管理費	1,490,579	1,768,357
営業利益	640,009	498,439
営業外収益		
受取利息	147	1,697
受取手数料	3,827	4,012
その他	621	1,308
営業外収益合計	4,595	7,019
営業外費用		
支払利息	9,811	8,631
社債利息	2,245	1,907
株式報酬費用消滅損	1,624	—
その他	1,498	804
営業外費用合計	15,180	11,342
経常利益	629,424	494,115
特別利益		
固定資産売却益	1,787	—
新株予約権戻入益	880	—
特別利益合計	2,667	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2,297
特別損失合計	—	2,297
税引前四半期純利益	632,091	491,818
法人税、住民税及び事業税	198,366	149,982
法人税等調整額	△1,525	7,785
法人税等合計	196,841	157,767
四半期純利益	435,250	334,050

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	632,091	491,818
減価償却費	26,058	49,585
株式報酬費用	92	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,794	△21,639
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	—	△40,000
受取利息	△147	△1,697
支払利息	9,811	8,631
社債利息	2,245	1,907
株式報酬費用消滅損	1,624	—
新株予約権戻入益	△880	—
有形固定資産売却損益（△は益）	△1,787	—
有形固定資産除却損	—	2,297
売上債権の増減額（△は増加）	△24,488	△9,553
棚卸資産の増減額（△は増加）	△891	178,374
仕入債務の増減額（△は減少）	7,704	△3,290
その他の流動資産の増減額（△は増加）	1,556	3,804
その他の流動負債の増減額（△は減少）	40,285	37,786
その他	5,872	△3,070
小計	687,354	694,952
利息の受取額	154	1,675
利息の支払額	△11,632	△9,759
法人税等の支払額	△77,097	△251,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	598,780	435,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,350	△1,351
有形固定資産の取得による支出	△13,888	△44,404
無形固定資産の取得による支出	△5,386	△7,238
投資有価証券の取得による支出	—	△5,062
差入保証金の差入による支出	△5,257	△25,003
差入保証金の回収による収入	256	450
貸付けによる支出	—	△1,330
貸付金の回収による収入	—	120
その他の支出	—	△3,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,625	△87,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△164,940	△173,917
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,129	△1,413
社債の償還による支出	△152,000	△120,000
割賦債務の返済による支出	△1,249	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による 収入	9,000	—
自己株式の取得による支出	△15	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,333	△95,330
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	258,820	252,543
現金及び現金同等物の期首残高	1,682,350	1,661,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,941,171	1,913,643

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の変更)

当社は2025年7月10日開催の取締役会で本社移転に関する決議をいたしました。これにより、本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、移転予定日までの期間で減価償却が完了するように中間会計期間より、耐用年数を変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ8,924千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	4,720,369	350,532	5,070,902
セグメント利益	573,577	66,432	640,009

(注) 「セグメント利益」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	5,487,931	385,493	5,873,424
セグメント利益	424,975	73,463	498,439

(注) 「セグメント利益」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。